

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	意思の疎通や意向を把握することが困難な方の介護計画内容は、計画作成担当者本位のものになりがちである	利用者様全員の介護計画が、本人本位のものになっている	サービス担当者会議とは別に、計画作成担当者会議を毎月行ない、3人の計画作成担当者が、それぞれ立案した計画書を確認し合い、本人本位の計画書になるよう検討、見直しを行なう	6ヶ月
2	27	看・介護記録の記録の内容が簡潔過ぎて、読むだけでは、状況やご様子の具体的なイメージが湧いてこない	誰が読んでも、状況や様子が瞬時にイメージできる看・介護記録を書き、実践や介護計画の見直しに活かす	家族会時、ご家族様へ積極的な看・介護記録の閲覧をお願いした。各ご家族様の目に触れることで、職員が、よりよい記録を書けるようになることを期待し、実践や介護計画の見直しにも繋がるようにしたい	6ヶ月
3	34	職員の退職、入職が目まぐるしくあり、十分な訓練を受けていない中途採用の職員も存在する	全ての職員が、十分な訓練を受け、いざという時に備える	社内研修では、年間に行う訓練の回数に限りがあるため、外部研修にて訓練を受けてもらうよう、促していく	6ヶ月
4	13	事業所は、法人内外の研修への参加の機会の確保を万全に行なっているが、積極的に参加する職員が少なく、限られている	全ての職員が、向上心を持ち、自主的に研修に参加する	事業所は、職員一人ひとりの力量にあった外部研修を一人ひとりに指定し、参加してもらう	6ヶ月
5	14	毎月、代表者、管理者が出席する同業者との勉強会に参加する職員が少なく、限られている	全ての職員が、向上心を持ち、自主的に勉強会に参加する	代表者や管理者が、より積極的に参加を促し、一人ひとりの職員に参加を促す声掛けを行なっていく	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。